

厚木市未来・図書館プラネタリウム投影機器等製作設置業務委託に係るプロポーザル評価基準

1 定量評価
価格提案

評価項目	評価基準	配点
価格提案	(以下の式で算出) 配点×提出された提案書のうち最低提案価格/当該提案価格 ※小数点第2位を四捨五入	120

2 技術提案評価

※ () は6人の配点合計点

評価項目	評価基準	配点
基本的な考え方	厚木市未来・図書館の理念や方針及び投影機器等を設置するプラネタリウム兼多目的ホール(あつめきドーム)の機能概要を十分に理解し、施設の目的に沿った提案になっているか。	10 (60)
光学式プラネタリウム投影機器	地上から見る自然で美しい星空の再現、機器の特徴について具体的な提案となっているか。	20 (120)
全天周デジタル式映像投影機器	多様なニーズに対応した映像表現、機器の特徴について具体的な提案となっているか。	20 (120)
連動システム	光学式とデジタル式の良好な連動制御を実現するための具体的な提案となっているか。	20 (120)
コンソール(操作卓)	番組投影や星座生解説などにおいて良好な操作性を有する具体的な提案となっているか。	20 (120)
番組編集システム	担当者が良質な番組を効率的に製作できる編集用システムや機器・素材を備えているか。	10 (60)
音響設備	イベント用途など多目的な運用ができるようにステージ用音響等が設置されているか。演出や没入感に優れた機器の提案となっているか。	10 (60)
保守管理体制	保守管理に当たり十分な仕組み、体制の提案となっているか。緊急時に迅速な対応が可能となっているか。	10 (60)
ランニングコスト	長期にわたる維持管理について、負担軽減策も含めて保全計画及び費用が具体的な提案となっているか。	20 (120)
運用面のサポート	機器等の操作研修や開館後のサポートなど十分な提案となっているか。	5 (30)
業務遂行能力	本業務を確実に遂行するために必要な技術力や実施体制、スケジュールとなっているか。	5 (30)
自由提案	仕様に定めた項目の他、独自性のある機能や集客力向上等に有効な提案となっているか。	30 (180)
合計		180 (1,080)

3 技術提案評価の評価方法

技術提案評価については、A 非常に優れている～F 満たさない の6段階で評価を行い、各配点に対し、次のとおりウェイトを乗じた値を評価点とします。

また、いずれかの委員が1つでもF 満たないと評価した項目があった場合は、その他の項目の評価点にかかわらず失格とします。

評価		ウェイト
A	非常に優れている	配点×1.0
B	優れている	配点×0.8
C	標準的	配点×0.6
D	やや劣っている	配点×0.4
E	劣っている	配点×0.2
F	満たさない	失格